

経 済 産 業 省

令和 5 年 5 月 3 1 日

電気管理技術者及び電気保安法人各位

経済産業省 産業保安グループ電力安全課長

2023年度夏季の自然災害に備えた電気設備の保安管理の徹底について

日頃から電気設備の保安に御尽力をいただき、ありがとうございます。

2023年度夏季の電力需給の見通しについては、10年に一度の厳しい暑さを想定した場合、全エリアで安定供給に最低限必要な予備率3%を確保できる見通しではあるものの、7月は東京エリアで最大需要発生時の予備率が3.1%と厳しい見通しとなっています。

こうした状況を踏まえ、経済産業省は、第62回電力・ガス基本政策小委員会において、2023年度夏季に向けた電力需給対策をとりまとめました*。

これを受けて、電気設備の事故・トラブル等が多発した場合、電力需給がひっ迫し、社会的に大きな影響を与えるおそれがあることなどを踏まえ、本日付けで発電事業者に対し、夏季の電力高需要期における電気設備の保安管理の徹底を要請したところです。

また、再生可能エネルギー電気の利用の促進に関する特別措置法に基づく固定価格買取制度の施行以降、太陽電池発電設備や風力発電設備が急激に増加しており、近年の豪雨や台風等で、太陽電池パネル等の崩落や飛散、雷撃を受けた風車のブレードの折損・発電所構外への飛散などといった事故が発生しています。加えて、需要設備においては、非常用予備発電装置を設置しているにもかかわらず、点検が実施されていなかったため不具合を発見できず、被災時に動作しなかった事例も発生しています。

こうした事故を防止するためには、夏季の自然災害が発生する前に、太陽電池発電設備や風力発電設備の入念な点検を実施するとともに、非常用予備発電装置の動作確認を含めた定期的な点検を保安規程に基づき適切に実施するなど、自然災害への備えに万全を期することが重要です。

つきましては、夏季の自然災害に備え、電気工作物の入念な点検を実施するとともに、必要に応じて電気工作物の設置者に対し、補強・補修・修理等を指示又は助言するなど、電気設備の保安管理について徹底することを求めます。

※ 第62回電力・ガス基本政策小委員会（2023年5月30日開催）

https://www.meti.go.jp/shingikai/enecho/denryoku_gas/denryoku_gas/pdf/062_03_00.pdf